



京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 開催報告書

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD

- 「京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD」とは
京丹後市内で事業を展開する、事業者や起業家がビジネスプランを
発表し、審査員からプラン内容に関するアドバイスを受けます。
全員の発表終了後に審査を行い、松本重太郎賞（グランプリ）を決
定します。
- 日時:令和4年11月18日(金) 10:00～
- 会場:丹後地域公民館
(〒627-0201 京丹後市丹後町間人2690番地の1)
- グランプリ特典
 - ・ 賞金30万円！
 - ・ 特別協賛のアサヒグループジャパンから商品提供
- 主催：京丹後市
- 後援：日本取引所（東証）グループ 近畿経済産業局、デジタル庁
- 特別協賛：アサヒグループジャパン株式会社、大阪丹後人会



京丹後発! JAPAN CHALLENGER AWARD 2022

2022.
11.18
(fri)

京丹後 募集 / チャレンジャー

FRANK JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 2-2

全国の若者を対象とした、地域課題を解決するための
ビジネスアイデアコンテスト! 提案内容に対して審査員から
アドバイスや質疑を受け、グランプリを決定します。

日時・会場

- 日時: 令和4年11月18日(金) 13:00開始
- 会場: 丹後地域公民館 (〒627-0201 京丹後市丹後町間人2690番地の1)

審査員

- 藤野 英人 (レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役 会長兼社長 COO 取締役 副社長/審査員)
- 中山 泰 (京丹後市長)
- 白石 行洋 (アサヒグループジャパン株式会社 顧問グループ資料室 室長)
- 池田 香代子 (京丹後 〇おかみさんの会)
- 行徳 佳平 (京丹後市商工会 会長)

司会

- 仲本 威雄 (公益社団法人 ジャパンチャレンジャープロジェクト 専務理事)
- 平野 裕加里 (フリーアナウンサー、有限会社LIBRA代表)

選ばれたチャレンジャーの事業アイデアが
事業モデルになるまで完全伴走します。

10月20日

エントリー
締め切り

エントリーフォーム



11月上旬

京丹後チャレンジャー
1on1個別指導受講(オンライン)

ビジネスアイデアコンテストに向けて
出場者へのサポートを実施!

11月18日

コンテスト

グランプリを
決定!

■主催: 京丹後市 ■後援: 日本取引所(東証)グループ ■特別協賛: アサヒグループジャパン株式会社、大阪丹後人会
■お問い合わせ先: JAPAN CHALLENGER AWARD事務局(公益社団法人 ジャパンチャレンジャープロジェクト) Eメール: info@japanchallengerproject.com



グランプリ
松本 重太郎賞
(受賞者には賞金30万円)

京丹後から生まれた
明治の革新者
松本 重太郎

江戸から明治へと新時代へ移り変わる中で丹後に生まれ、大坂の商いを営む、日本の産業革命を切り開いた関西を代表する実業家。



京丹後発! JAPAN CHALLENGER AWARD 2022

2022.
11.18
(fri)



大会概要

京丹後チャレンジャーがビジネスプランを発表し、審査員から
プラン内容に関するアドバイスを受けます。全員の発表終了後に
審査を行い、松本 重太郎賞(グランプリ)を決定します。

日時・会場

- 日時: 令和4年11月18日(金) 10:00開始、14:00終了(予定)
- 会場: 丹後地域公民館 〒627-0201 京丹後市丹後町間人2690番地の1
- 大会プログラム:

10:00 ○オープニング

松本 重太郎氏の紹介・前大会「松本 重太郎賞」藤村 幸澄さんのその後

12:00 ○京丹後チャレンジャー7名の発表(下記参照)

13:00 ○特別発表: 同志社大学(審査対象外)

○松本 重太郎氏を審査員が語る

14:00 ○グランプリ「松本 重太郎賞」発表

京丹後チャレンジャー

★八隅 孝治 次世代へ豊かな海を繋ぐ、海ゴミへのアクションを仕事に

★田中 栄輝 当社の新事業「オリブプロジェクト」

★木崎 広海 都会の味を京丹後市に!!

★下岡 千恵子 ~丹後の海の幸を全国へお届け~ もっと賞を獲りたい!!

★中田 樹 京丹後産クラフトグラノーラ

★足立 樹洋 地域や観光客のコミュニティのハブを担うサウナ屋

★由良 拓馬 京丹後発! ワインデリバリー

審査員

- 藤野 英人 (レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役 会長兼社長 COO/審査員)
- 中山 泰 (京丹後市長)
- 白石 行洋 (アサヒグループジャパン株式会社 顧問グループ資料室 室長)
- 池田 香代子 (京丹後 〇おかみさんの会)
- 行徳 佳平 (京丹後市商工会 会長)

司会

- 仲本 威雄 (公益社団法人 ジャパンチャレンジャープロジェクト 専務理事)
- 平野 裕加里 (フリーアナウンサー、有限会社LIBRA代表)

○主催: 京丹後市 ○特別協賛: アサヒグループジャパン株式会社、大阪丹後人会 ○後援: 日本取引所(東証)グループ
【お問い合わせ先】公益社団法人 ジャパンチャレンジャープロジェクト Eメール: info@japanchallengerproject.com

グランプリ
松本 重太郎賞
(受賞者には賞金30万円)

京丹後から生まれた
明治の革新者
松本 重太郎

江戸から明治へと新時代へ移り変わる中で丹後に生まれ、大坂の商いを営む、日本の産業革命を切り開いた関西を代表する実業家。



当日はYouTubeによる
LIVE配信を行います。
直接会場にお越しにな
れない場合も、ぜひこ
ろ確認ください。



○主催: 京丹後市 ○特別協賛: アサヒグループジャパン株式会社、大阪丹後人会 ○後援: 日本取引所(東証)グループ
【お問い合わせ先】公益社団法人 ジャパンチャレンジャープロジェクト Eメール: info@japanchallengerproject.com



オープニング（松本重太郎の軌跡～京丹後から）



アサヒビールを世に送り出した四人の主要役

外山脩造



国産ビール事業の育成の必要性を唱え、鳥井駒吉と構想を練る実業家

松本重太郎



鳥井駒吉の才を見出し、渾身のサポートでアサヒビールを誕生させた実業家

鳥井駒吉



堺の酒造家、青年実業家で、先見の明に優れアサヒビールを日本一にした

生田 秀



本場ドイツでビール醸造と醸造学を修得し、本格的国産ビール誕生を牽引した

司会の平野 裕加里さんが、松本重太郎を含む4人の人物が世に送り出したアサヒビールの軌跡について朗読しました。
また、松本重太郎の軌跡や京丹後市についての説明も行われました。



地域密着型 マチの携帯屋さんを創る 藤村 幸澄

前回グランプリを受賞した藤村 幸澄さんが、今年1年間の事業の取り組みについてプレゼンしました。藤村さんは、自身が携帯ショップで働いていたときに感じていた携帯ショップの課題解決に取り組むべく、ショップ店員を辞めて地域密着型の携帯屋さんを起業しました。今年度は新たに、スマホ教室の開催や地方創生モバイルの開発に取り組まれたことを発表しました。



■会社名 株式会社plovers	
■設立 2021年10月8日	
■業種業態 ・スマートフォン教室 ・ICT/プログラミング教室 ・各種ブロードバンド取次 ・デジタル訪問設定サポート ・スマホ修理業 ・地方創生モバイル 「miraimo」運営	

地域密着型
マチの携帯屋さんを創る

あなたのマチの携帯屋さん



どうしよう…
1人でやっていけるだろうか…
経営者に向けてないのかな…



全国最大120教室
2023年春展開予定



スマホ教室
(オンライン)

地方創生モバイル
miraimo(みらいモ)

オープニング



今年度は、5名の審査員の方々に審査をしていただきました。
オープニングでは、審査員挨拶の他
チャレンジャーの皆さんへコメントをいただきました。



レオス・キャピタルワークス株式会社
代表取締役会長兼社長CIO

藤野 英人



京丹後市長

中山 泰



アサヒグループジャパン株式会社
顧問 グループ資料室室長

白石 行洋



京丹後(宿)おかみさんの会

池田 香代子



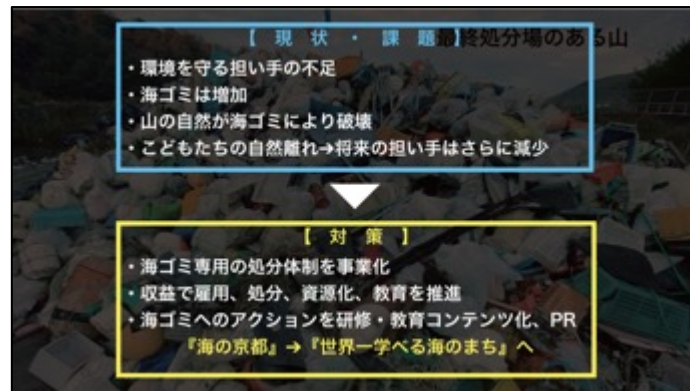
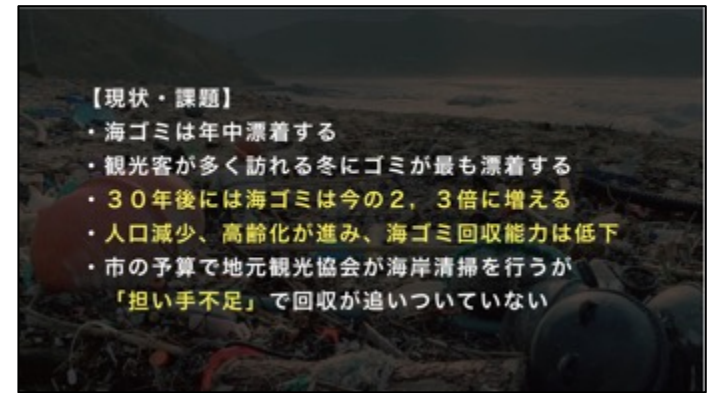
京丹後市商工会
会長

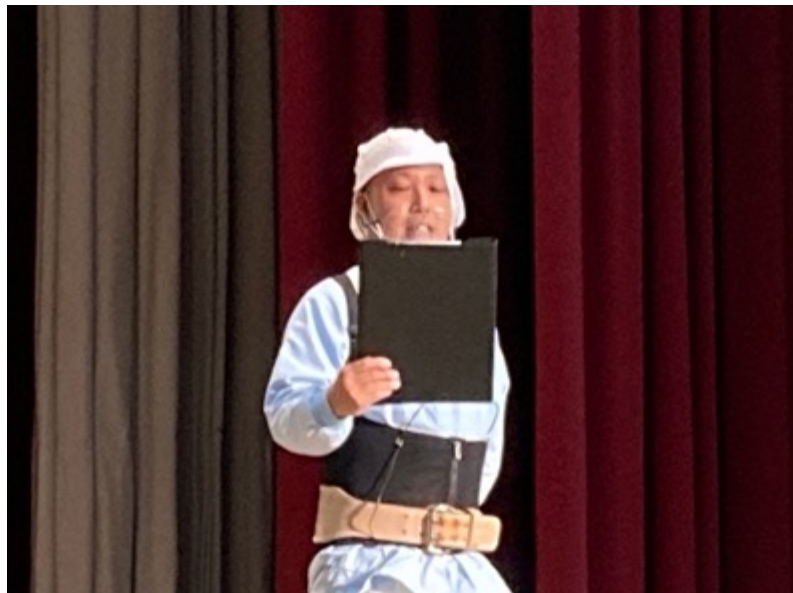
行待 佳平



次世代へ豊かな海を繋ぐ、海ゴミへのアクションを仕事に 八隅 孝治

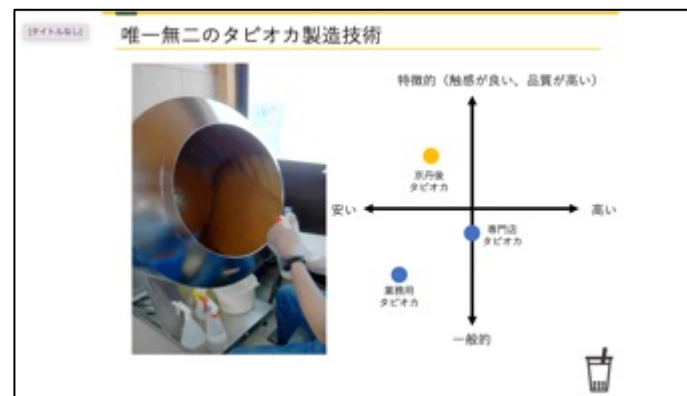
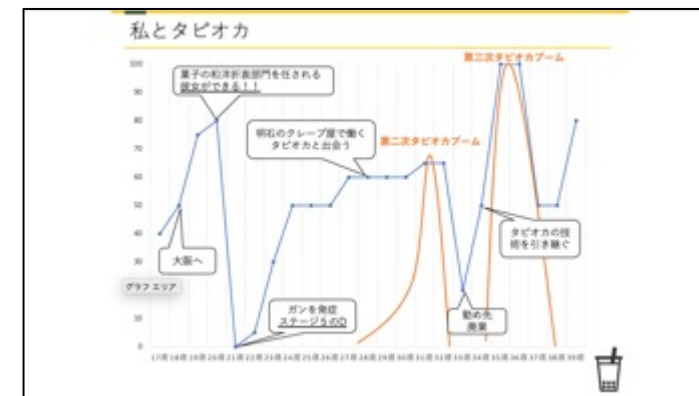
子供が産まれたことで、海が身近になった八隅さんは、海に漂着する沢山の海ゴミの課題に着目しました。その後、綺麗な海を保つためにMOYAKOを結成し、未来を変えるためのビーチクリーン活動を始めました。京丹後を世界一学べる海のまちにするための事業プランを発表しました。





都会の味を京丹後市に！！ 木崎 広海

明石のクレープ屋で働いていた時にタピオカと出会った木崎さんは、タピオカに魅了され、現在はタピオカの技術を習得し自ら作っています。現在は、タピオカ工場を運営しており、地域の和菓子屋などにもタピオカを提供しています。京丹後タピオカを地元の高校生に楽しんでもらうことを視野に入れた事業プランを発表しました。






丹後の海の幸を全国へお届け～ おいしい魚でまるっともって皆を笑顔に！ 下岡 千恵子

お父さんが生前行なっていた行商を引き継ぎ、母と二人三脚で魚屋を経営している下岡さん。自社HPを作成するほか、ふるさと納税やお魚定期便の取り組みに挑戦するなどして事業を拡大させています。京丹後の魚を用いて京丹後を活性化していくための事業プランについて発表をしました。



～丹後の海の幸を全国へお届け～
おいしい魚でまるっともって皆を笑顔に！

 丸友鮮魚 下岡千恵子

—新たな取り組みとして—

- ①自社ホームページを作成（販売）
- ②ふるさと納税
- ③お魚定期便

—当店の強み—

- ①丹後近海の魚を主とした「地物」をメインに販売すること
- ②間人漁港の仲買人であり、私が直接目利きし、最後まで責任を持って捌き調理すること
- ③「行商」の鮮魚店であるということ

—丹後に貢献していくために—

- ・ふるさと納税
- ・インバウンド需要を見越して、出張行商サービス
⇒外国人観光客向けに、ゲストハウスなどへ出張し、行商販売体験や、目の前で魚の調理を行う

行商を続けていくために、行商だけに依存しない販売方法へ

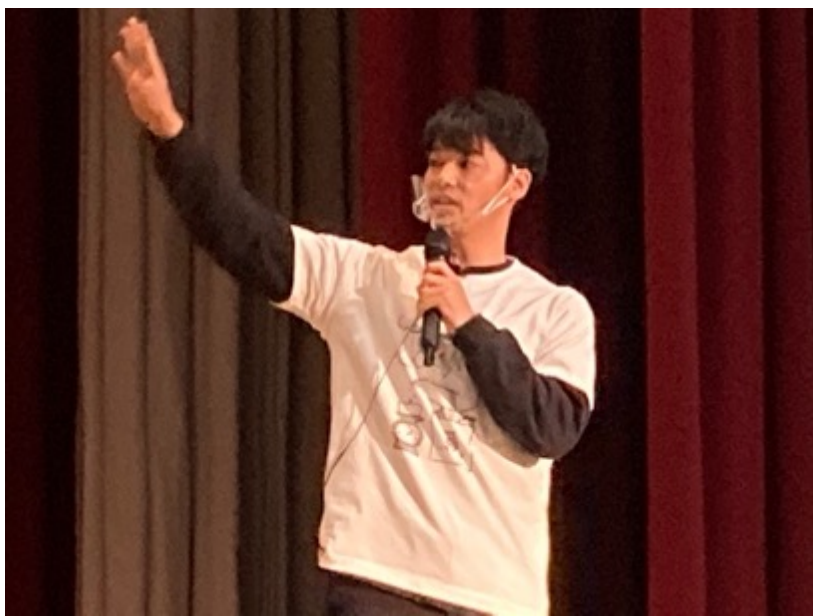


当社の新規事業「オリーブプロジェクト」 田中 栄輝

日本のオリーブオイルは約8割のものが偽物であったり、低品質のオイルを使っているという課題を発見した田中さんは、自社で本物のオリーブオイルをつくる事業を始めました。

オリーブ園を地方創生の目玉とし、オリーブの木のオーナー制度を用いたふるさと納税に挑戦するアイデアを発表しました。





京丹後産クラフトグラノーラ 中田 樹

中田さんは、グラノーラの量り売り事業を行っています。
今回は、京丹後の新鮮なフルーツを用いたグラノーラを開発し、京丹後市の地域活性化や食品ロス問題への解決を目指す事業プランを発表しました。
今後はmade in Japanのクラフトグラノーラを用いて世界に挑戦する
ということ进行了語りました。



京丹後 × 豊岡

クラフトグラノーラ
プロジェクト

中田樹
豊岡市起業型地域おこし協力隊 (任期2年)

ミッション

- ① 京丹後産で「ご当地」クラフトグラノーラをつくる！
- ② クラフトグラノーラで業界の大手に挑み世界へ！
- ③ フルーツを通して食品ロスの解決へチャレンジ！

課題...

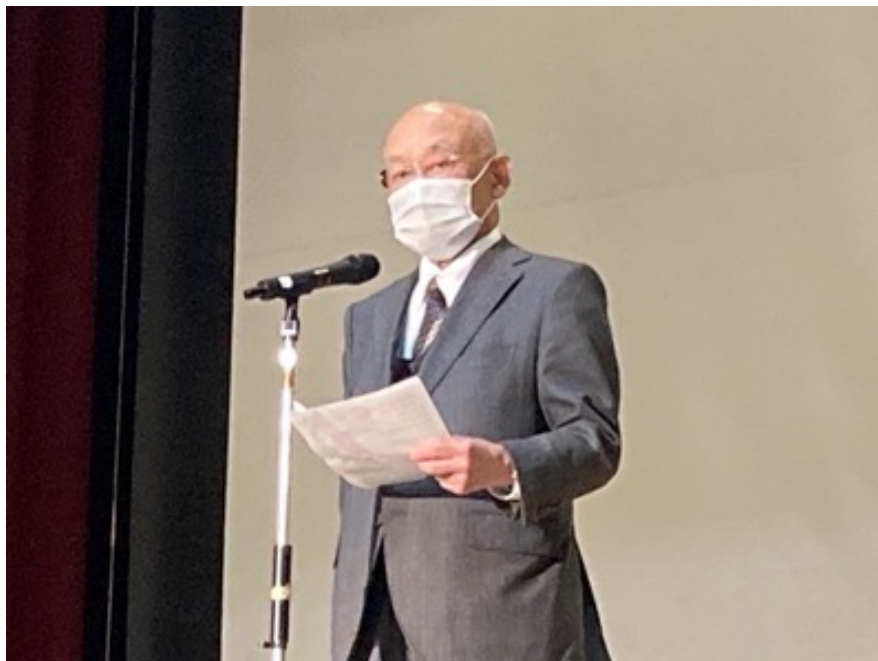
- 国産は海外の生産物と比べて高い ...
- 基準が厳しい日本では規格外として廃棄される果物も多い
- 輸入に頼っていたが肥料や石油価格の高騰で苦しくなる

2022年9月末 開始 直近の実績

出店	取引先
<ul style="list-style-type: none">- 都市部でのイベント 出店 (あべのハルカス、Patagonia神戸店、三ノ宮他)- 豊岡市内 Pop up 出店 2回- コープ共済 (豊岡) でのPop up出店	<ul style="list-style-type: none">- 城崎の旅館 3店舗- 豊岡市内の飲食店 6店舗- 大阪市内の小売店 3店舗

特別企画（松本重太郎氏を語る）

大阪丹後会会長の挨拶



松本重太郎氏を語る（パネルディスカッション）

松本重太郎翁が初代会長を務めた大阪丹後人会の現会長である長島様より、大阪丹後人会の創設は123年前で約150名の会員が集まり郷土貢献活動などされておられることなどお話いただきました。次にスペシャル企画として松本重太郎翁とゆかりの深いアサヒビールの白石氏を中心にトークセッションを行いました。また、審査員それぞれの目線で次の通り、松本重太郎翁についての思いが語られました。藤野氏からは、現在リアルアントプレナーが活躍してるが、松本重太郎氏は規格外。中山氏からは、公益資本主義、ESG投資の大切さなど、新しい概念にすでに扉を開いていた。白石氏からは、大恐慌の最中国産ビールを作った立役者。見込んだ若者を徹底的に応援していたというエピソード。池田氏からは、受けたご恩はしっかり返す方。行待氏からは、明治は日本のエネルギーが爆発した時代。世界でも類を見ない、日本の発展を成し遂げた方。最後に投資家として、藤野氏からは「事業家が集まった現場を見てきたかった。」事業家として白石氏からは「社会的存在意義が重要である」とコメントがあり、有意義なパネルディスカッションとなりました。

アサヒビールを世に送り出した四人の主演

外山脩造



国産ビール事業の育成の必要性を唱え、鳥井駒吉と構想を練る実業家

松本重太郎



鳥井駒吉の才を見出し、渾身のサポートでアサヒビールを誕生させた実業家

鳥井駒吉



堺の酒造家、青年実業家で、先見の明に優れアサヒビールを日本一にした

生田 秀



本場ドイツでビール醸造と醸造学を修得し、本格的国産ビール誕生を牽引した





地域や観光客のコミュニティのハブを担うサウナ屋 足立 樹律

自身の身体を壊したことをきっかけにサウナに通い始めた足立さんは、人々の余白を生むためにサウナ事業を始めることを志しました。サウナの貸切事業なども行っており、サウナを地方創生の武器にするための事業プランについて発表をしました。



アウトドアサウナ事業

むす五輪サウナ

金額	2時間	3時間
1	14,000 / 7,000	18,000 / 9,000
2	14,000 / 4,687	18,000 / 6,000
3	14,000 / 3,500	18,000 / 4,500
4	16,500 / 3,300	21,000 / 4,200
5	19,000 / 3,187	24,000 / 4,000

販売価格

サウナの課題

サウナは設備産業 ハード面での差別化が難しい

機能面を推すサウナが増えている

スペックオーバーなサウナはライト層、ミドル層の開拓には繋がりにくい
ブームで終わる可能性がある

今後の展開・ひろがり

中・長期的取り組み

近隣の指定管理施設の運営

施設から徒歩5分にあるキャンプ場施設
コテージやフリーサイトもあり、週末は京阪神のお客様で賑わう

蒸のモデルを別の場所で展開

観光誘客と地域貢献のモデルを展開
来年別の施設でOPEN予定

目指す世界

サウナを文化にする。

サウナがヒトを集め、繋がりを生み、地域もヒトも温まるそんな世の中を目指しています。



京丹後発！ワインデリバリー 由良 拓馬

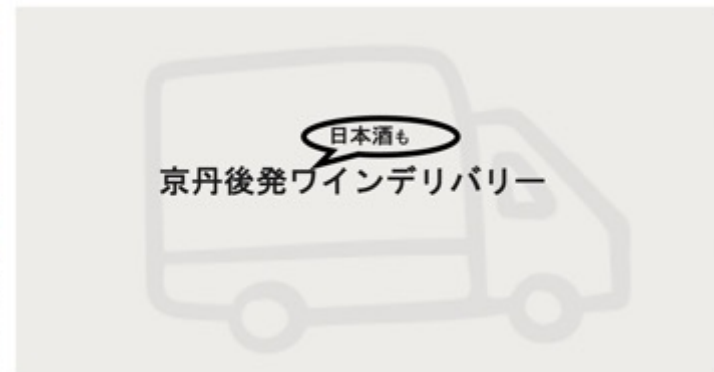
由良さんは、京丹後発のワインデリバリーを行う事業プランを発表しました。QRコードを読み取るだけでどこへでもデリバリーができる仕組みについて説明を行った他、ノンアルコールワインの提案も行いました。実際に由良さんが製造しているノンアルコールワインを審査員に提供したところ好評をいただきました。



経歴

2021年7月
京丹後市初のWine Shopを開店
由良 拓馬 (Takuma Yura)

京丹後市出身
調理師学校卒業後、飲食業界で18年
12年半は大坂三ツ星レストランのソムリエ



宿泊施設からの距離が長い

- 1 観光スポット**

海、夕日、山陰海岸ジオパーク、温泉
自然の絶景を生かしたアクティビティ
- 2 ショッピング**

商業施設は広域に点在
まとまってショッピングできる施設
やエリアは少ない
- 3 車移動が基本**

丹後半島は広域で、交通インフラも
十分でない為、車以外の移動手段は
不便が多い

ミニバーの提案

- 1 外出せず楽しめる
外出のハードルが低いので、手軽に
ドリンクを楽しめる
- 2 こだわりのドリンク
スナックで付加価値を
お土産屋さんで出せないこだわりの
セレクトで体験価値の向上を
- 3 追加の売上アップ
体験価値の向上に加えて
売上アップも狙える

トータルサポート

- 1 ワイン・サービス講習
- 2 ワインリスト作成
- 3 ワイン商品販売
ワイングラス
ソムリエナイフ
ワインセラーなど



同志社大学 伊藤萌々 坂本綾香 ゼミ合宿で京丹後市を学生のまちに！



京丹後市で行ったオール同志社教育推進プログラムにて優秀賞を獲得した同志社大学の伊藤さんと坂本さんが発表を行いました。

「#交わる、感動、京丹後」をテーマに、関西の大学生をターゲットとした観光客が落ち着く時期（春・秋）の旅行プログラムを提案しました。

京丹後市からの
テーマ

- ①春と秋に誘客できる新たな観光
- ②山間部の誘客
- ③若者がターゲット



ターゲット設定の背景

- ①若者の集客
- ②最初の集客がしやすい(ポスター、生協の協力)
- ③大学生の春・秋の休みを狙う
- ④ゼミ合宿と観光の繁忙期の時期の違い
- ⑤一定の集客が狙える

交流の方法

観光地での里山文化案内人との交流
里山文化案内人…地元の名人と観光客を繋ぐ
観光ガイド

よし野の里でのチェキボード作り
グループに一つチェキ貸し出し
撮った写真をボードに貼り思い出を共有

審査員



審査委員長 藤野 英人



審査員 中山 泰



審査員 白石 行洋



審査員 池田 香代子



審査員 行待 佳平

フィナーレ（松本重太郎賞・アサヒビール特別賞）



審査員の厳正なる選定の結果、「地域や観光客のコミュニティのハブを担うサウナ屋」というテーマで発表をした足立 樹律さんがグランプリ（松本重太郎賞）を受賞しました。また、当日、審査員により急きょ創設されたアサヒビール特別賞は「京丹後産グラノーラ」というテーマで発表をした中田 樹さんが受賞しました。

フィナーレ



写真 (司会者)





出演者

JAPAN CHALLENGER

- ①次世代へ豊かな海を繋ぐ、海ゴミへのアクションを仕事に
八隅 孝治
- ②都会の味を京丹後市に！！
木崎 広海
- ③～丹後の海の幸を全国へお届け～
おいしい魚でまるっともっと皆を笑顔に！
下岡 千恵子
- ④当社の新規事業「オリーブプロジェクト」
田中 栄輝
- ⑤京丹後産クラフトグラノーラ
中田 樹
- ⑥地域や観光客のコミュニティのハブを担うサウナ屋
足立 樹律
- ⑦京丹後発！ワインデリバリー
由良 拓馬

ゲスト

藤村 幸澄
(京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 2021グランプリ受賞者)
同志社大学 伊藤 萌々、坂本 綾香

JAPAN CHALLENGER 審査員

- 藤野 英人(レオス・キャピタルワークス(株) 代表取締役会長兼社長 CIO)
- 中山 泰(京丹後市長)
- 白石 行洋(アサヒグループジャパン(株) 顧問 グループ資料室 室長)
- 池田 香代子(京丹後(宿)おかみさんの会)
- 行待 佳平(京丹後市商工会 会長)

司会

- 平野 裕加里 (フリーアナウンサー、タレント、有限会社LIBRA代表)
- 仲木 威雄 (公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト専務理事)



スタッフ（組織図）

運営スタッフ一覧

総合プロデューサー・演出・音楽・映像：中川直洋

チーフディレクター：東田一起

ディレクター：多田 健人 奥川季花、柴田花菜、濱田祐太

アシスタントディレクター：伊藤 萌々 坂本 綾香

映像制作：藤原徹也

音響・映像制作：杉山亮太、河井 吉正 島崎 雅之

場内スタッフ：藤村幸澄 堀井 和輝

